

22a ケースに学ぶITプロジェクトにおける品質マネジメント

1. 研修要領

主催者 (一社)長崎県情報産業協会

・募集定員	16名
・研修会場	NISA研修室 (住所:〒850-0032 長崎市興善町4番6号)
・講師	麻生教育サービス(AES)講師:山口新吾
・開催月日	2021年2月3日(水)・4日(木)・5日(金)
・実施時間・日数	9:30 ~ 17:30 (7時間/日)・3日間(21時間)
・受講料(税別)	78,800円
・教材料(税別)	5,000円

2. 対象者

プロジェクトリーダー、これからプロジェクトを管理していく方。

3. カリキュラムの概要

プロジェクトを遂行する上で、どうすれば品質を担保し、客先に対して品質が高いということを説得することができるかをケーススタディを通して習得します。

1.ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性、2.ソフトウェア品質とは、3.ソフトウェア品質管理の全体像、4.品質計画(レビュー計画、テスト計画、品質目標値の設定フレームワーク、品質データ収集)、5.品質保証(品質保証体系、レビュー留意点、テスト技法、テスト網羅性の観点)、6.品質管理(品質分析概要、レビュー密度、テスト密度/バグ密度)、7.品質管理(ゾーン分析、バグ管理曲線)、8.品質改善活動(改善活動の2つのアプローチ、改善サイクルの構築)

4. カリキュラムの詳細

3日間(21時間)

	科目	時間	科目の内容
2月3日	1. ITプロジェクトとソフトウェア品質	1.0hr	・品質問題の考察 ・ソフトウェア品質を向上させるには
	2. 品質についての基礎知識	1.0hr	・品質の定義 ・品質の2つの側面 ・品質とコスト ・品質マネジメントの基本的な考え方
	3. ソフトウェア品質マネジメントの課題と重要性	1.0hr	・ソフトウェア品質の特徴と課題 ・問題解決コストは下流工程になるほど増大する ・データで品質を語ることで、品質改善が進む
	4. ソフトウェアの品質とは	1.0hr	・ソフトウェアの品質とは ・成果物の品質尺度 ・作業の品質尺度 ・ソフトウェアのバグとは
	5. ソフトウェア品質管理の全体像	1.0hr	・ソフトウェア品質管理の全体像 ・高品質ソフトウェア実現に向けた活動の要点 ・各開発工程における品質保証の観点
	6. 品質計画	1.5hr	・プロジェクト計画と品質計画 ・品質計画の基本方針 ・品質目標値の設定 ・品質データの収集
	【演習1-1】品質目標値の設定	0.5hr	◆演習ケース説明 ◆演習問題説明/演習

	科目	時間	科目の内容
2月4日	【演習1-2】 品質目標値の設定	1.0hr	◆演習(つづき)／発表
	7. 品質保証	1.5hr	<ul style="list-style-type: none"> ・品質保証体系 ・レビューの目的と留意事項 ・テスト技法の種類 ・テスト計画 ・テスト網羅性の観点
	【演習2】 テスト設計書の評価	1.5hr	◆演習問題説明／演習／発表
	8. 品質管理	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・品質管理の概要 ・品質データ分析の実施 ・レビュー速度とバグ密度の関係 ・テスト密度とバグ密度の関係 ・テスト工程におけるゾーン分析の例 ・バグ管理曲線
	【演習3-1】製造完了時 における品質見解	2.0hr	◆演習問題説明／演習
2月5日	【演習3-2】製造完了時 における品質見解	1.0hr	◆演習(つづき)／発表
	【演習4】総合テスト途中 における品質見解	3.0hr	◆演習問題説明／演習／発表
	9. 品質改善活動	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・改善の積み重ねが現場力を磨く ・改善活動のフレームワーク ・改善活動の2つのアプローチ ・QC7つ道具、新QC7つ道具
	10. PJ完了時における 教訓の整理と共有	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・プロジェクト完了報告 ・ヨコテンでチームの成果を組織の成果に
	11. まとめ	1.0hr	<ul style="list-style-type: none"> ・まとめ ・ふりかえり
	計	21.0hr	

※コース改善のため、予告なくカリキュラム及び教材を一部変更することがあります。

5. 使用教材

オリジナルテキスト

6. 到達目標

ITプロジェクトにおける品質マネジメントの計画および管理ができるようになる。

7. レベル

ITSSレベル:2~3